

# 南信州広域連合第1回広域連合会議結果報告

日時：令和8年4月16日(木) 15:45～16:40

場所：県飯田合同庁舎301号会議室

## 【出席者】14市町村長副管理者

〔JR東海中央新幹線長野工事事務所〕小池所長  
〔長野県建設部リニア整備推進局〕平林局長・北原主事  
〔飯田市〕牧内リニア駅周辺整備担当参事  
〔南信州地域振興局〕大日方局長  
〔飯田建設事務所〕井出整備課長  
〔飯田保健福祉事務所〕唐木副所長  
〔下伊那郡町村会事務局〕岡庭局長  
〔飯田広域消防〕下平消防長、熊谷消防次長兼総務課長、中本消防次長兼警防課長  
〔環境センター〕関島事務長  
〔事務局〕吉川事務局長・滝沢事務局次長兼総務課長  
乾地域医療福祉連携課長兼医療福祉連携係長・金田広域振興係長  
渡邊広域振興係企画調整担当専門主査  
熊谷補佐兼庶務係長・久保田庶務係主事・幾島庶務係主事

## 1 開会…15時45分

## 2 広域連合長挨拶

令和8年度の第1回目の広域連合会議になる。一部の職員が異動となり新しい体制でのスタートということになる。令和7年度は大規模な事業があり、8年度は運用していくということになる。具体的には高森消防署の新庁舎、木曾広域消防との共同指令センターが4月1日から正式運用が開始された。今のところ順調に運用されていると認識している。新しい年度をしっかりと進めていけるように皆様方と一緒に取り組んでいきたい。

## 3 協議・報告事項

- (1) 令和8年度の職員体制、新任職員の紹介 **【吉川事務局長、下平消防長】**～資料No.1～  
資料を基に令和8年度の職員体制、新任職員の紹介がなされた。

- (2) リニア中央新幹線について

以下のとおり報告された。

**【県リニア整備推進局 平林局長】**～資料No.2～

3月23日に大鹿村リニア連絡協議会、3月24日に阿智村リニア対策委員会、4月8日に中川村リニア中央新幹線対策協議会を開催。3月31日に、リニア中央新幹線中間駅を有する4県による共同の地域再生計画が認定された。本計画は、中間4駅が埋没することなく、それぞれの地域活性化につながるよう連携して取り組むことを目的としたものであり、日本中央回廊の形成に向けて4県が連携して事業を推進していく内容となっている。本計画の認定により、今後実施する事業について国の財政支援を受けやすくなる。今後の予定としては、4月21日に喬木村説明会、5月20日に豊丘村リニア対策委員会を開催予定である。

【JR 東海中央新幹線長野工事事務所 小池所長】～当日配布資料～

大鹿村で3月23日にリニア連絡協議会を開催し、大鹿村内における工事の進捗状況、工事用車両の通行台数及び環境測定結果について説明を行った。阿智村では3月24日にリニア対策委員会を開催し、3月2日に実施した清内路地区説明会の内容について説明を行った。あわせて、中央新幹線建設に係る確認事項の変更内容及び村道1の20号線における発生土運搬車両通行に関する文書の取り交わしについて報告を行った。3月30日から4月5日まで、「教えて！リニアのリアル」第18弾が放送された。番組では、品川一名古屋間における中間駅の工事状況や、地域連携の取り組みなどが紹介された。

(主な意見等)

大鹿村長：5月にツアーオブジャパン大鹿ステージ、5月6日にはプレイベントとレース大会が予定されている。

大会当日は、平日にも関わらず車両の運行の休止、工事用道路の提供をいただいている。また、プレイベント時には職員のお手伝いをいただくなどご協力をいただき感謝申し上げる。

(3) リニア中央新幹線長野県駅（仮称）の駅舎外観デザインについて

【県リニア整備推進局北原主事、飯田市リニア駅周辺整備担当牧内参事】～資料No.3～

リニア中央新幹線長野県駅（仮称）の駅舎外観デザインについて資料を基に説明がなされた。

JR 東海が建設するリニア中央新幹線の長野県駅については、飯田市が進める駅前広場計画との調和を図るとともに、長野県の南の玄関口にふさわしい駅となるよう、リニア中央新幹線建設促進長野県協議会より要請を行ってきた。これを受け、JR 東海、長野県、飯田市の三者による外観デザイン検討を行うことを提案し、JR 東海から同意を得た。また、JR 東海からは、駅舎デザイン検討の参考とするため、長野県及び飯田市に対し、キーワード・モチーフ及び要望事項の提出依頼があった。デザイン検討については、外観デザイン、内観デザイン、機能デザイン、空間デザインの4項目があるが、今回は外観デザインを対象として進める。キーワード・モチーフについては、飯田市が取りまとめている「飯田リニア駅前空間デザインノート」を基本として検討を行い、関係機関の意見を踏まえながら整理していく。長野県・飯田市からの要望を実現するにあたり、追加の費用が必要になる場合は協議を行う。今後の進め方としては、

ア 長野県及び飯田市でキーワード・モチーフ及び要望事項案を作成

イ 長野県協議会へ意見照会

ウ 意見を取りまとめ、JR 東海へ提出

エ JR 東海から複数のデザイン案提示

オ 南信州地域でアンケートを実施し、推薦案及び要望事項を提出

という流れで進める予定。その推薦案と付随する要望事項を JR 東海へ提出し、最終的に JR 東海でデザインを決定する。

また、長野県及び飯田市の追加費用負担が生じず、JR 東海側にも追加負担が発生しない範囲で、魅力ある駅舎外観となるよう、追加要望も行っていく考え。検討体制については、長野県リニア整備推進局及び飯田市リニア推進部が主体となり、有識者の意見も踏まえながら検討を進める。外観デザイン対象範囲は駅舎建屋部分とし、駅前広場との調和及び広域的視点の双方を踏まえながら三者で連携して検討を進める方針。JR 東海は、地元から提出されたキーワード・モチーフを参考として駅舎外観デザインを作成・決定する。

キーワード・モチーフと要望事項の案について飯田市より説明。

キーワードについては、「信州・伊那谷の風景と営み」を基本コンセプトとして整理している。モチーフについては、「信州伊那谷の風景」として、天竜川、河岸段丘、山並みが織りなす伊那谷の風景写真を活用し、「信州・伊那谷が育んだ営み」として、当地域で育まれてきた産業や文化を表現する写真を組み合わせる方向で検討している。風景表現については、山並みや天竜川、よこね田んぼの棚田などに見られる横方向への広がり意識を構成している。また、「営み」の表現としては、水引、こより、阿島傘、精密機械産業などに見られる手仕事や繊細な工芸文化を取り上げるとともに、民俗芸能に見られる光と影を通じて、地域に積み重ねられてきた歴史・文化を表現する。さらに、中央部には「結い」の考え方を配置し、風景と暮らし、人と地域とのつながりを表現する構成としている。

要望事項案については、

ア 周辺住民の生活環境へ配慮するとともに、長野県の南の玄関口にふさわしい外観デザイン及び機能とすること

イ 駅舎外観については、国道 153 号から県道市場桜町線区間を含め、リニア本線構造物との調和や取り合いが分かるよう、複数方向からのイメージパースを提示すること

ウ リニア車両を視認できること、また車内から伊那谷の風景を眺望できる構造とすることの3点を整理している。

JR 東海からは、キーワード・モチーフについては断定的な表現を避け、複数のデザイン提案が可能となるよう、端的な文言で整理してほしいとの要請がある。また、駅舎デザイン検討を実施するのは、山梨県、岐阜県、長野県の地上駅3駅のみであり、その中でも長野県駅が先行して検討を進めている。今後、5月末を目途に、キーワード・モチーフ及び要望事項案をJR東海へ提出する。

(主な意見等)

高森町長：説明に来ていただいたときに果樹の風景や獅子舞を取り上げるということを提案したが入る余地がなかったということで良いか。

飯田市：今回は案ということで提示した。検討して最終的な案を5月末までに考えている。

高森町長：5月の広域連合会議でもう一度この案が出るというイメージで良いか。

飯田市：4月末を目途に意見集約を行っていきたいと考えている。出てきた意見を5月の広域連合会議で提案させていただければ。

高森町長：外観デザインの話は今回あったが、境界部分のデザインや、内観デザイン、機能デザイン、空間デザインについては、JR東海が決めるという形になってくるのか。

長野県：外観以外の部分については今回のキーワード・モチーフ等を基にJR東海で案を作る。その後自由通路や高架下の部分の調整を図っていく。

高森町長：説明に来ていただいたときに示された図では、駅部の下の部分にかなり多くの柱がある。これから構造物が建っていく段階で、例えば 3,000 m<sup>2</sup> くらいの空間があると言われても、実際にどの程度使える空間になるのか。高架下空間を活用するという発想自体は非常に良いと思うが、実際には柱がかなり支障になるのではないかという印象がある。場合によっては外側へ広げていく必要があるのかとか、飯田市へお願いしていく話も出てくると思う。一方で、これから建設するものであれば、例えば柱を太くして本数を減らすなど、構造的な工夫をお願いできる余地もあるのではないかと思うが、そういった対応は可能か。

飯田市：リニア本線の土木の構造物になる。当該構造物については既に工事が始まってしまっている。

高森町長：ぜひ情報を公開していただけるとありがたい。

副連合長：町村会の中でも協議を行い、名古屋大学の加藤教授にお手伝いをお願いしたらどうかということで、決議し、申し入れを行っていくことになった。リニア駅アクセス検討会議や、リニア駅前広場活用検討会議、さらには今回の駅舎デザインの件についてもそうだが、駅前広場整備コンセプトや地元の要望事項を踏まえて進めていく必要があると思う。一方で、長野県駅の二次交通の整備を考えたときに、現状の体制だけでは少し心もとない部分もあるのではないかと感じている。今回、県・飯田市・JR 東海の三者で進めていくということだが、町村会も県協議会の構成員として関わっており、地元としても主体的にしっかり取り組みたいという思いがあるため、もう少し町村会も関わらせていただければありがたい。また、外観デザイン検討体制のアドバイザーとして、加藤教授にも加わっていただいた方が、全体としてバランスの取れた検討になるのではないかと考えている。

平林局長：広域的な関係での検討はこれからしっかりやっていく。その中で有識者のご意見は必要と考えている。検討するにあたっては様々なフェーズがあり、その中でどのような形で有識者に入っていただくかということをご相談させていただく。人選も相談させていただく。どのような形で整理していくかもご相談する。

(4) 令和8年度専門職員共同採用試験について

【滝沢次長】～資料 No.4～

令和8年度専門職員共同採用試験について資料を基に説明がなされた。

共同採用試験への参加の意向を照会したところ、飯田市、阿智村、平谷村、下條村、売木村、天龍村、大鹿村の7自治体から参加の表明があった。一次試験の内容についてはエントリーシート及び動画によるものとした。受験資格は、それぞれの自治体で決める。募集期間は4月24日（金）から5月22日（金）まで。

→質疑等なし。

(5) 看護師等確保対策修学資金の選考審査等について

【乾地域医療福祉連携課長】～資料 No.5～

看護師等確保対策修学資金の選考審査等について資料を基に説明がなされた。

募集期間：3月9日（月）から4月24日（金）まで

貸与予定人数：10人

応募者：6人（新卒者4人、既卒者2人） 4月14日現在

作文審査：4月30日（木）から5月15日（金）までの期間で実施。

選考審査会：5月下旬にはにかむペースにて実施。日程調整中。

その他：返還猶予者及び返還免除者についても審査会で報告し、承認を受ける。

→質疑等なし

(6) 飯田広域消防から

【熊谷消防次長】～資料 No.6～

たき火火災ゼロ運動期間中における火災発生状況について資料を基に説明がなされた。

ア 実施期間

3月1日（日）から3月31日（火）まで。

イ 取組事項

横断幕、のぼり旗、ポスター等による啓発、車両等による広報、チラシによる啓発等

ウ 期間中のたき火届の受付件数

2,252件（令和7年度受付総件数は12,450件で昨年度比約900件の増）

火災予防条例の改正によりたき火の届出が遵守されたことが増加の要因の一つ。

エ 期間中の火災発生状況

火災21件（昨年比7件の増加）

たき火等屋外での火の取り扱いに起因する火災16件（昨年比12件の増加）

オ たき火火災等の火災の状況

届け出がされていなかったもの14件

消火の準備がされていなかったもの10件

カ 火災発生傾向からのたき火火災等対策

昨年末以降少雨が継続し空気が乾燥し火災が多発したことから火災予防広報を実施するとともに市町村の広報媒体による住民への啓発を行った。1月から3月までの火災発生件数は45件で昨年同時期より24件の増加となっている。たき火火災等への対応としては、たき火届受付時における消火の準備等の注意事項の徹底。巡回指導によるたき火実施者への呼びかけ、無届けの場合の直接指導。出火行為者の68%が60歳以上ということから住民防火講話での注意喚起。林野火災注意報及び（林野）火災警報の住民周知を行うとともに関係機関と連携してたき火火災・林野火災の対策を行っていく。

→質疑等なし

(7) その他

ア 南信州いいむす21登録判定

以下いずれも承認。

南信州広域連合事務局総務課	100pt	★×10（更新）
飯田広域消防高森消防署	94pt	★×10（更新）
飯田精密株式会社	100pt	★×10（更新）
株式会社ミナミ	97pt	★×10（更新）
協和設備有限会社	94pt	★×10（更新）

イ 後援依頼

以下いずれも承認。

(7) 第11回うるぎトリアル RUN

催事名：第 11 回うるぎトライアル RUN  
主催団体：売木村、うるぎトライアル RUN 実行委員会  
開催日時：令和 8 年 10 月 11 日（日）9 時から 13 時まで  
会場：売木村内  
後援団体：長野県、売木村教育委員会、売木村商工会ほか  
協賛団体：飯田信用金庫、株式会社琥珀観光、愛知東邦大学ほか

(イ) 2027 中部の私立大学・短期大学 大学展 飯田会場

催事名：2027 中部の私立大学・短期大学 大学展 飯田会場  
主催団体：愛知県私立大学広報委員会、中日新聞社  
開催日時：令和 8 年 6 月 21 日（日）10 時から 16 時まで  
会場：丘の上 結いスクエア  
後援団体：長野県教育委員会、下伊那高等学校長会

#### 4 長野県

(1) 南信州地域振興局【大日方局長】

特になし。

(2) 飯田建設事務所【井出整備課長】～資料 No.8-1～

一般国道 151 号の全面通行止めについて資料を基に説明がなされた。

4 月 11 日（土）18 時頃国道 151 号の法面が崩落し全面通行止めとなっている。規制日時は 4 月 11 日（土）18 時から当面の間。場所は阿南町落合発起 1 号橋北。迂回路は、国道 418 号または国道 153 号から天竜公園阿智線を通るルート。現在は崩れた土砂の撤去、網の補強、倒木の撤去を行っており、これらの作業が終了した後は作業の安全性が確保できるため、センターラインに仮設の防護柵を設置し、谷側の車線を片側交互通行で通れるような形で作業を進めていく。ゴールデンウィーク前までを目標としている。今後の動きとしては、24 時間で 130mm の雨が降ったため、災害復旧工事ということで**基幹**をあけることなく斜面の災害復旧も引き続いて行い全面の早期開放を目指していく。

→質疑等なし

(3) 飯田保健福祉事務所【唐木副所長】

消防本部との感染症患者の移送に関する協定の締結に関してご理解をいただき感謝申し上げます。

(4) リニア整備推進局【北原主事】

駅舎外観デザインについて補足説明がなされた。

事前に各首長に説明を行った際にいただいた意見と、本日からリニア県協議会へ意見照会を 4 月 30 日期限内で行い、次回の広域連合で取りまとめた案を説明させていただく。

#### 5 当面の日程について

5 月 19 日（火） 広域連合会議（飯田合同庁舎講堂）

5月25日(月)10時00分 広域連合議会第1回臨時会及び全員協議会(はにかむベース)

6 その他

阿南町長退任挨拶

3期12年を終え、これで退かせていただく。後任が参るので皆さん一緒になってご協力を賜りたいと思う。  
大変お世話になりました。

7 閉会…16時40分